

ハンス・クリスチャン・アンデルセン 原作 60分

劇団め組名作劇場
Aグループ作品
低学年用 | 高学年用

はだかの王様



あらすじ

昔、ある国におしゃれな王様がいました。
その王様のもとへやってきた二人のいかさま師が王様のために、
“なまけ者や、心のきたない人には見えない不思議な服”を
作ることにしました。

しかし、それは真っ赤なウソ！

それなのに役立たずと思われたくない大臣達は見えない服をほめあげます。
とうとう王様は、はだかで町を行進することになるのです。
その王様を見て、ひとりの少年が叫びます。

「王様は、はだかだ！！」

さあ、本当のことを言ってしまった少年はどうなるのでしょうか？



「はだかの王様」は、1837年にデンマークの童話作家、ハンス・クリスチャン・アンデルセンが発表したお話です。
誰もが知っているアンデルセン童話の世界に、歌や踊りを盛り込んだ楽しいお芝居です。少年を通して真の勇氣とは
何かを問いかけ、子供の純粋な姿に感動を受ける作品です。

芥川龍之介 原作 80分

杜子春

とししゅん



てっかんし
鉄冠子

とししゅん
杜子春

あらすじ

とししゅん

杜子春は、貧しい生活と母親を残して、唐の都洛陽にやってきました。

お金を無くし途方に暮れていますと、そこに鉄冠子と云う仙人が現れます。「お前の望みを
一つだけ叶えてやろう」杜子春は即座に答えます。「お金が欲しい」と…… 望み通り、杜子春は
洛陽一の豪華な生活をします。

やがて金を使い果たした杜子春は金の空しさを知ります。そして仙人になる為に鉄冠子の弟子に
なります。

杜子春は修行の為の様々な責め苦にありますが、堪え続けます。しかし、最後に地獄で母親が
鞭打たれるところを見て、ついに禁を破ってしまうのです。

「お前があのままでいたなら、私は、お前を見捨てただろう」と鉄冠子は述懐します。

杜子春は仙人にはなれませんでした、人間にとってなにが大切かということを学んだわけです。

じゅうがい

芥川の創作童話に共通している点は、教訓を教訓くさくなく巧みにとりいれ消化を充分にして
子供たちを堪能させてしまうことにあるようです。この作品には、芥川の特徴が余す事無く盛り
込まれています。

劇団め組は昭和59年より“愛と感動を届けよう”と全国の会館や小・中学校に、世界の名作の巡回公演を
開始しました。私達は全国の子供達に『愛とは、友情とは、そして勇氣や真の正義とは一体何か』等の
人間としての普遍的なテーマを問い続けていきたいと願っております。これからも江戸時代の火消し集団
“め組”のように、若さと躍動感に溢れ、情熱と誇りを失わず、より良い作品をお届けいたします。

(株)劇団め組

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-35-10

TEL:0422-22-0749 / FAX:0422-22-0294

■ホームページアドレス <http://www.gekidan-megumi.co.jp/> ■メールアドレス info@gekidan-megumi.co.jp